

令和3年度

決算報告書

国立大学法人山口大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	12,161	12,285	124	(注1)
施設整備費補助金	1,566	1,409	△156	(注2)
補助金等収入	532	3,290	2,758	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	43	43	0	
自己収入	31,594	32,778	1,184	
授業料、入学料及び検定料収入	6,113	6,126	13	(注4)
附属病院収入	24,308	25,467	1,159	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	1,173	1,184	11	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,461	2,747	286	(注7)
長期借入金	1,796	1,186	△609	(注8)
目的積立金取崩	174	158	△15	(注9)
計	50,327	53,900	3,573	
支出				
業務費	42,986	45,593	2,607	(注10)
教育研究経費	19,167	19,537	370	
診療経費	23,819	26,056	2,237	
施設整備費	3,405	2,638	△766	(注11)
補助金等	532	1,525	993	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,461	2,289	△171	(注13)
長期借入金償還金	943	959	16	(注14)
計	50,327	53,007	2,680	
収入-支出	0	892	892	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった退職手当、年俸制導入促進費、授業料免除の追加配分が行われたことにより、予算額に比して決算額が124百万円増加となりました。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更に伴う繰越および返還が行われたことにより、予算額に比して決算額が156百万円減少となりました。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対策等の補助金事業の獲得により、予算額に比して決算額が2,758百万円増加となりました。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が377百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数が予算積算員数に比して増加したことにより、予算額に比して決算額が13百万円増加となりました。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症に対する医療と高難度医療を両立し、本来の大学病院機能を回復したことによる収入増により、予算額に比して決算額が1,159百万円増加となりました。
- (注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が11百万円増加となりました。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得により、予算額に比して決算額が286百万円増加となりました。
- (注8) 長期借入金については、計画変更に伴う繰越が行われたことにより、予算額に比して決算額が609百万円減少となりました。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた目的積立金取崩額を変更したため、予算額に比して決算額が15百万円減少となりました。
- (注10) 業務費については、附属病院稼働増に伴う診療経費の増加により、予算額に比して決算額が2,607百万円増加となりました。
- (注11) 施設整備費については、(注2)および(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が766百万円減少となりました。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が993百万円増加となりました。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費予算額を多額に見込んでいたことにより、予算額に比して決算額が171百万円減少となりました。
- (注14) 長期借入金償還金については、貸付金利の変更に伴い、予算段階で想定していた支払利息見込と差異が生じたため、予算額に比して決算額が16百万円増加となりました。